

高温耐性に優れる 8 月盆向けの小ギク品種			
[要約] 小ギク「精なつぜみ」、「精みやこ」、「精あかり」、「小鈴」、「はるな」、「精そよかぜ」の 6 品種は、消灯後の高温条件下でも開花が遅延しにくく、8 月盆出荷に適する。			
茨城県農業総合センター園芸研究所	令和元年度	成果区分	技術情報

### 1. 背景・ねらい

県内小ギク生産では、需要期出荷に向けた開花調節として電照技術が導入されているが、消灯後の高温遭遇による開花遅延が問題となっている。そこで、高温条件下でも開花遅延しにくい品種を選定し、開花調節技術の精度向上を図る。

### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 消灯後の高温条件下において、「精なつぜみ」、「精みやこ」、「精あかり」、「小鈴」、「はるな」、「精そよかぜ」の 6 品種は、2 か年にわたり開花遅延日数が少ない（図 1、2）。また、「精しらたき」、「精こまき」、「玉子」は、高温の影響を受けやすい。
- 2) 上記 6 品種の開花遅延程度は、平成 26 年度成果で選定した 6 品種（「舞人」、「精ちぐさ」、「すばる」、「糸子」、「常陸サマールビー」、「精しまなみ」と同程度である（図 2）。
- 3) 高温による切り花形質（切花長、切花重、節数、分枝数、フラワーフォーメーション）への影響は少ない（表 1）。
- 4) 一般的な 6 月中旬の消灯条件において、上記 6 品種は需要期に安定して開花し、8 月盆出荷に適する（表 1）。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) 平成 30 年は 26 品種、令和元年は 41 品種を供試した結果である。
- 2) 高温処理は、予備試験の結果に基づき、人工気象室・プランター栽培（平成 30 年）およびパイプハウス・地植え栽培（令和元年）において、消灯 2 週間後から 14 日間行った。高温処理の平均気温は、人工気象室が高温区 28.8℃、対照区 22.9℃、パイプハウスが高温区 25.3℃、対照区 22.5℃である。

#### 4. 具体的データ

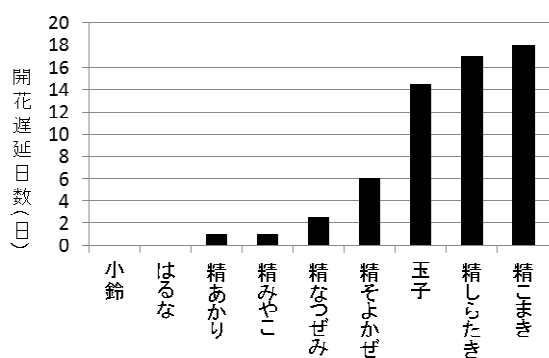


図1 品種ごとの高温処理による開花遅延日数 (人工気象室・プランター栽培)

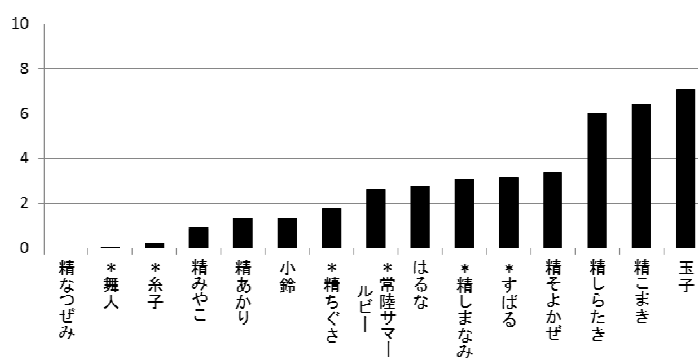


図2 品種ごとの高温処理による開花遅延日数 (パイプハウス・地植え栽培)

※印はH26度主要成果での選定品種

- 人工気象室・プランター栽培 (H30) : 高温区は昼 (4時10分~19時) 30℃、前夜半 (19時~23時) 20℃、後夜半 (23時~4時10分) 30℃、対照区は昼 25℃、前・後夜半 20℃とした。  
パイプハウス・地植え栽培 (R元) : 高温区は 30℃換気、25℃加温とし、対照区は側窓、妻面、裾張りを開放した。  
消灯2週間後から14日間高温処理を実施した。
- 開花遅延日数 = 高温区の平均採花日 - 対照区の平均採花日。“小ギク (磯の香) のステージ2”で採花。
- 栽培概要 : プランター栽培は 5/2 定植、地植え栽培は 4/24 定植。白熱電球による暗期中断電照栽培、消灯日 6/14 (プランター)・6/13 (地植え)
- 試験規模 : プランター栽培は 1区 10株・20茎・1連制、地植え栽培は 1区 10株・30茎・1連制

表1 収穫調査<sup>1)</sup> (パイプハウス・地植え栽培)

品種名 (色)	処理区	切花長 (cm)	切花重 (g)	節数 (節/枝)	分枝数 (本/枝)	フラワーフォーメーション <sup>2)</sup>	採花日 (月/日)
精なつぜみ (白)	高温	94.4	78.4	34.2	9.7	2.5	8月8日
	対照	94.3	74.7	39.5	14.4	2.0	8月8日
精みやこ (赤)	高温	130.1	88.0	52.4	18.6	2.1	8月6日
	対照	124.4	91.5	47.0	17.1	2.1	8月6日
精あかり (赤)	高温	99.8	84.9	49.0	9.4	3.2	8月13日
	対照	93.3	76.9	48.0	11.8	2.9	8月11日
小鈴 (黄)	高温	111.6	121.0	41.9	8.7	3.6	8月8日
	対照	104.4	129.4	39.5	10.0	3.5	8月6日
はるな (黄)	高温	127.1	146.8	42.9	12.8	3.1	8月12日
	対照	116.1	110.1	40.1	12.9	2.8	8月9日
精そよかぜ (白)	高温	108.8	71.9	51.5	19.6	2.3	8月5日
	対照	88.5	47.0	40.9	14.8	2.2	8月1日

<sup>1)</sup> 栽培概要と試験規模は図2と同じ

<sup>2)</sup> フラワーフォーメーションは右図に基づく分類



高 ← 商品性 → 低

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

夏秋小ギクの高精度な開花調節技術の確立・平成29~令和2年度・花き研究室